

【講演の内容】

○自己紹介・経歴

- ・大学卒業後→証券会社に勤務→ディベロッパーへ転職→六本木ヒルズを担当
→中国上海市へ転勤→渋谷再開発を担当

○ディベロッパーの仕事内容について

- ・不動産ってなんだろう？・・・オフィスビルや商業施設など身近な場所にある。
- ・ディベロッパーの仕事とは・・・まちをデザインする仕事である。

○どんな思いをもってディベロッパーの仕事に就いたのか

- ・墨田区を素敵な街にしたい。
- ・自分の仕事を地図に残したい。
- ・常に新しいことに挑戦したい。

○現在取り組んでいる「渋谷再開発」について

- ・映像などを活用することで、開発側のイメージを共有することが大切である。
- ・まちをデザインすることには、作り手の思いが込められている。

【子供の感想】

(5年)

- ・ディベロッパーという仕事を知らなかったが、自分たちにとって身近な職業であることが分かった。
- ・駅や建物、まちなどを作る際に思いが込められているのだと知ることができた。
- ・渋谷なども作っていることが分かり、驚いた。

(6年)

- ・僕は、将来不動産などを売る人や案を出す人になりたいと思っていました。今回の話を聞いてみたところ、僕のやりたいこととまったく同じでした。「ディベロッパーっていいなあ。」と思った。



【講演の内容】

- 自己紹介、経歴紹介・・・28歳で料理長に、現代美術館内レストラン料理長
- 料理人という職業、思い
 - ・ほかにはないサービスをして、より多くの人に喜んでもらいたい。
- 道具や服装の工夫、実物体験
 - ・メニューの工夫・・・男性側のメニューに金額が入っている、子供向けに塗り絵になっている。
 - ・コックコートの秘密・・・袖が長くなっているのは熱いスープの鍋をつかむため、プラスチックのボタンは使わないのは、熱さで溶けないよう、割れて料理に入るのを防ぐためなど。
- 子供たちへ伝えたいこと
 - ・働くということは必ず誰かの役に立っている。世界の誰かを幸せにできるような立派な大人になってください。

【子供の感想】

(5年)

- ・フランス料理が高級食材を使っていて、値段が高いことにびっくりしました。
- ・実際にお店に行ってみたいと思いました。
- ・包丁の刃の長さが変わるほど、物を大切にしているのがすごいと思いました。

(6年)

- ・コックコートの特徴や包丁の性能など、工夫がたくさんあることに気づきました。
- ・調理師になることも大変だけど、なってからも大変なのですね。
- ・料理人になることをあきらめていましたが、お話を聞いたらなりたくなってきました。
- ・誰かに喜んでもらえるような仕事に就きたいと思うことができました。
- ・これからもみんなを笑顔にするような料理をつくってください。



【講演の内容】

- 保育園のプチ知識
 - ・月齢に応じて一人の保育士が担当する幼児の人数が異なる
 - ・認可保育園と無認可保育園の違い
- 保育園の一日
- 保育における大切なこと
 - ・園児に寄り添うこと（共感）
 - ・園児の安全（お散歩時など）
 - ・個に合わせた工夫 など
- ・保育士は、園児の命を守る責任ある仕事。
- ・教え子が同じ保育士になり、20年後一緒に働いている。
- ・小学校時代のすべての学習が将来につながっている。今を大切に過ごしてほしい。

【子供の感想】

（5年）

- ・子どもに寄り添うだけではなく、危険の確認もしなければならぬとは、大変な仕事だと思いました。
- ・小さい子はうつ伏せで寝ているだけでも息が止まることがあると知り、驚きました。
- ・子ども一人一人に合わせていくのは大変な仕事だと感じました。
- ・小さい子と一緒にだと、身近な所に危険があるとわかりました。

（6年）

- ・自分が知っていること以上にやることや注意することが多く感じ、やりがいのある仕事だと思いました。
- ・子供に接していくうえで、共感してあげることが大切だと勉強になりました。
- ・一人ひとりの子供が違う個性を持っていて、それぞれに工夫しながら仕事をしていることがわかりました。



【講演の内容】

○調理師の免許について

- ・学校やホテル等多くのお客様に食事を提供する場所でも働くことができる。
- ・調理師の免許がお店に飾ってあることで、お客様の安心にも繋がる。

○調理師になったきっかけ

・初めて自分が作ったエビピラフをお客様に出した時に、お金と一緒に「おいしかったよ。」と言ってもらえた。そのことが忘れられず、一度会社で働いたけど、調理師になった。

○調理師を目指すみんなに

- ・どんどん料理して、料理することの楽しさを感じてほしい。
- ・料理に終わりはない。お客様に美味しい料理を提供したいという理想がある。
- ・理想を求めて頑張るのは料理だけでなく、他の職業でもそう。理想があるから頑張れる。

【子供の感想】

(5年)

- ・お話をきいて、家で料理をつくってみたら、思ったよりうまくできて、楽しかった。
- ・料理をつくった経験があまりないので、料理のレシピを考えるというのがすごいと思った。
- ・新しいレシピを考えるときに、一日でできるときもあれば、一ヶ月かかるときもあると聞いて、驚いた。

(6年)

- ・調理師は、なる前もなっってから大変な仕事だとわかった。普段いくお店などで、料理を作ってくれる人がとても努力をしていたことが学べて、もっと感謝して食べないといけないと思った。
- ・1500品ものレシピを頭の中で覚えておくことは、とても大変なことだと思った。
- ・お客さんによって固さや味の濃さを変えていることを初めて知った。



【講演の内容】

○警察官になろうと思ったきっかけ

- ・大学生のときに道に迷った際、親切にしてもらい、格好いいと思った。
- ・5歳の頃、オリンピックで柔道を見て警察で柔道を習い始め、強くて優しい警察官に憧れた。

○警察官になるためには

試験で合格した後、警察学校で半年間、厳しい訓練を受ける。

○仕事内容

- ・地域課、警備課、生活安全課、交通課、刑事課、警務課、機動隊・・・と担当の課がある。
- ・交番の仕事は、24時間体制なので、4部制

○やりがい

- ・厳しい現場や、苦しい、辛いときもあるけれど、住民の方の笑顔や、感謝の言葉で吹き飛ぶ。これからもずっと続けたいと思う。
- ・町の人から感謝されることが多い。この手で人を助けられる、人のためになれる。

○メッセージ

勉強、スポーツ、遊び、何でも、今を精一杯過ごしてほしい。

○警察官が普段身に付けている装備品の紹介

○パトカー内部、警察の装備品の説明

【子供の感想】

(5年)

- ・警察官がみんなの安全を守って、24時間体制で働いていて、「かっこいいな〜」、「やさしいな〜。」と感じました。

(6年)

- ・警察官になるためには、警察学校で厳しい訓練をしなくてはならないことを知りました。また、日常の小さなことの積み重ねが大事なこともわかりました。



【講演の内容】

○講義

- ・ 自己紹介、会社の紹介（建物の骨組みを作る仕事）
- ・ 建築は地震などが起きても壊れないように、自然や天災を考えて作られている。
- ・ 建築に関わる人たちは、人々の命を守る仕事をしている。
- ・ 鉄筋は骨の役割（酸性）、コンクリートは肉の役割（アルカリ性）。だから錆びない。
- ・ トンネル工事はシールドと呼ばれるドリルを用いて行っている。

○体験

- ・ 高層マンションの鉄筋を組み立てよう。
- ・ 工具を使ってみよう。

【子供の感想】

(5年)

- ・ 鉄筋が入っている柱と入っていない柱では、頑丈さが全然違うことがわかった。
- ・ 自分たちが知っている有名な建物を建てていることを知りびっくりした。
- ・ 棒を縛る作業では、機械が重かったけど、何とか縛れた。
- ・ 外の作業ではとても暑い中、時間をかけて骨組みをたてたり、コンクリートを固めたりしていると聞いて大変だなと思った。

(6年)

- ・ コンクリートには、鉄筋がないと意味がないこと、地震では大きな建物に逃げた方がよいことなどを学んだ。
- ・ コンクリートだけでは、すぐに壊れてしまうけれど、鉄筋が入ったコンクリートでは、上でジャンプしてもひび一つ入らない。鉄筋を入れるだけで強度がすごいあることを知った。
- ・ お話を聞いて、将来建設業をやる自信がついた。



5年 講義の様子



6年 体験の様子

